

Akram Khan

アクラム・カーン

Sidi Larbi Cherkaoui

シディ・ラルビ・シェルカウイ



『ゼロ度 zero degrees』

この作品はすごいらしい……すでにダンス評論家やダンスファンの間で、噂的になっている『ゼロ度 zero degrees』。気鋭のダンス評論家である乗越たかおさんももちろん、そんな早耳の一人。アクラムやシディにもインタビューをしたことがあるという乗越さんは、この作品をどう見るか。オリジンとは異なる地で育った二人の背景から、“アイデンティティ”をキーワードに、独特の語り口で『ゼロ度 zero degrees』を切る！

まるで旅のような、人生のような、全てのエッセンスを凝縮した一幕

アイデンティティとは、カンタンに言えば「自分とは何者であるか」という根拠のことだ。が、たいていの人は、「いや、根拠もなにも、オレはオレっすよ」と思うのだろう。日本とはそういう国だ。島国という立地のため、違う言語・文化・宗教の人とはほとんど触れずに生活することが可能だ。アイデンティティなんて改めて考えなくても生きていける……と思いきや、果たしてそうだろうか？ カラオケで「そのままのキミでいいんだよ」とか歌ってジーンとしたりしてないだろうか？ 人は、まったく孤独では生きていけない。直接／間接を問わず、他人や社会との関連において自分の立ち位置を確認しながら日々を生活しているものなのである。

『ゼロ度』という作品でテーマとなるのはまさにそこだ。ヨーロッパの若手で今最も注目されているシディ・ラルビ・シェルカウイと、いままで正式な来日公演がなかったのが不思議なくらいの人気を誇るアクラム・カーン。この二人が組む、というだけで、世界のダンスファンは色めきたったものだった。

そしてこの二人ともが、複雑な出身だ。アクラムはバングラデシュ系イギリス人、シディ・ラルビはモロッコ系ベルギー人。そして両者ともPARTS（ベルギーが誇るダンス・カンパニー『ローザス』の芸術学校）と縁がある。ベルギーは様々な国に占領されてきた歴史があり、現在もひとつの国の中に公用語がふたつあるなど（オランダ＝フラマン語とフランス＝ワロン語）、たえず国のアイデンティティが揺らいできた。

冒頭は並んで座り、モノローグ（独白）から入る。二人して同じセリフを話すのだ。それは断続的に続けられ、実際に列車で国境を越えたときの体験談が語られる。それは多分にショッキングで、パスポートという身分証明書（アイデンティフィケーション・カード）にまつわる話になっていく。

しかしもちろん一番の見所はダンスだ。面白いのはダンスシーンこそがダイアログ（対話）のように、相手の身体を探りながら、展開していくのである。あるときはユニゾンで、またあるときは武道家二人のごとく立ち向かって全身を刃のごとく切り結ぶ。このときこそ、まさにダンスという芸術の奥深さ、つまり言葉も文化も越えて響きあえる可能性を実感させてくれる瞬間なのである。アクラムの空気を切り裂くような動き、とくに彼が幼い頃から学んでいた北インド地方の伝統舞踊「カタック」に通じる切れの良い回転。そしてそんな殺気を柔らかに受け入れ、時に同調し時に弾くように動くシディ・ラルビ。

『ゼロ度』は、ダンスのうまい人が観客に向かってさあどうぞ、と見せるタイプの舞台ではない。社会的なアイデンティティを剥ぎ取り、ゼロの存在のままでも他者と関わり、自らを覚醒させていく。まるで旅のような、人生のような、全てのエッセンスを凝縮した一幕なのである。

文・乗越たかお（作家・ヤサぐれ舞踊評論家）



のりこしたかお。主著に『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド HYPER』（作品社）、『ダンシング・オールライフ 中川三郎物語』（集英社）、『アリス ブロードウェイを魅了した天才ダンサー 川畑文子物語』（講談社）等。『シアターガイド』『DDD』で連載中。



最注目ダンサー／振付家による奇跡のデュエット

アクラム・カーン＋シディ・ラルビ・シェルカウイ **NEW**

『ゼロ度 zero degrees』

民族の伝統とヨーロッパの文化という二重の背景、不確実なアイデンティティを背負った2人が、葛藤と協調を重ねて切り開く、新たなダンスの地平。超絶技巧に彩られ、詩的な美しさに賞かれた、ダンス界最大の話題作をお見逃しなく。

【日時】2007年1月12日（金）開演 19:30
13日（土）開演 16:00 / 14日（日）開演 16:00

※12日の公演終了後に、出演者によるトークを行います。

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【演目】『ゼロ度 zero degrees』

【振付・演出・出演】アクラム・カーン、シディ・ラルビ・シェルカウイ

【音楽】ニッティン・サウニー 【彫刻】アントニー・ゴムリール

【チケット（税込）】

一般 S席5,000円 A席3,000円 学生 A席2,000円

メンバーズ S席4,500円 A席2,700円

【発売日】メンバーズ 10月21日（土） 一般 10月28日（土）